

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

永井克昌会長 年度目標
“豊かな人間関係を創り”

次の世代に続くロータリーにしよう!

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 大附香一



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 永井 克昌
幹事 矢野 雄嗣

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp

HPhttp://www.nagoya-marunouchi-rc.org/

第937回例会 No. 29 平成27年2月12日(木) 晴	
■ ローターソング	「我等の生業」
■ 出席報告	会員52名中37名出席
■ 出席率	55.32% 出席計算人数47名
■ 修正出席率	1月29日 休会
■ スピーカー	小川剛史 様
■ ゲスト	元会員 池井戸貞夫さん 池井戸さんゲスト 奥村文章様

会長挨拶

ニコBOX	
ゲストスピーカー 小川剛史様	
本日、卓話スピーカーを務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。	
●本日の卓話は小川剛史様をお迎えして、黒田官兵衛の生き方についてお話を伺います。小川様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。	
永井会長、矢野幹事、小原、古川、和田、岩田、高山、若原、堀江、森田、成田、水野、有沢、田中、恵利、長谷川(敬称略)	
岡田さん 目の検査をしてみがしいのでサングラスをしています。	
本日合計 36,000円	

2015-16年度地区委員会委嘱状伝達

次年度地区委員会委嘱状が届きましたので永井会長より伝達致しました。

奨学基金・学友・平和フェロウシップ委員会 副委員長

… 長谷川龍伸さん

国際奉仕委員会委員 … 高山 進さん



卓話

小川産業株式会社 取締役 小川 剛史

『軍師官兵衛残照伝』

「黒田官兵衛～軍師・戦国武将として貫いた

“ぶれない生き方”～」



概略

昨年大好評を博した『軍師官兵衛』

豊臣秀吉に天下を取らせた稀代の軍師・参謀黒田官兵衛(如水)の生き様が如何なく描かれ、ご覧になられた皆様にも鮮烈な印象を与えたかと思われま

す。播磨国の一地方大名に仕える家老の家に生まれた官兵衛は、運命の転機となった秀吉との出会いを経て、彼の軍師として活躍！その知力・気力・体力をフル回転させ、天下統一に多大なる貢献を果たしました。

但し、平定事業が進むに連れて、主君である秀吉と官兵衛は、徐々に確執を生じ、疎遠な関係へと変化していき

ました。完全無欠の権力の座に上り詰め、傲慢になっていく秀吉に対して、官兵衛は如何にして向き合ったのでしょうか？

両者の確執を、それぞれが持っていた価値観や人間観の相違から考えてみると共に、時と場合によっては『逆名利君』すら辞さなかった官兵衛の姿を通じて、私たちリーダーが学ぶべき“ぶれない生き方”について、考えて参りたいと思います。

……………

プロフィール

勤務先: 小川産業株式会社(食品原材料卸)

現在:代表取締役副会長CSR担当

対外団体役職

①一般社団法人名古屋東法人会理事

②同青年部会顧問

③名古屋東間税会青年部長

自己紹介

尾張徳川家の殿様の隠居所(現在の徳川園)近くで瓶詰め飴屋を営んでいた飴職人の末裔?(もともと出来町は御用商人が沢山住んでいた場所とされている)

明治45年(1912)創業。今年で103年目を迎える。三代目の父親が会長。四代目の私が副会長。

歴史との出会いは、小学校4年生の時のNHK大河ドラマ『風と雲と虹と』を見て感動。

以後歴史の世界にのめり込む。

早稲田大学教育学部に入學。日本中世史を専攻。

5年前より、地元の法人会の研修会等で歴史講師を務める。それをきっかけに、歴史に対する情熱が再び目を覚ました。

現在は仕事の傍ら、講演会活動を行う一方で、各地での歴史イベントや講座、在野の歴史研究会に参加して勉強を続ける。また歴史機関誌への投稿も行う。



ハイライトよねやま 179号 (米山記念奨学会ニュース WEBより抜粋)

寄付金速報

— 50年以上前の奨学生から匿名寄付も —

1月までの寄付金累計は前年同期と比べ3.0%増、約3千万円の増加です。普通寄付金が1.5%増、特別寄付金が3.9%増となりました。1月単月の寄付金は1億6,500万円と、過去10年間で2番目に低い金額ではありましたが、累計では直近6年間で最高額です。1月の寄付の中には、現在は台湾に住む今から50年以上前の元米山奨学生から「米山奨学会にずっとお礼をしたいと思っていましたが、これまで何もできずにいたので」と、匿名で100万円の高額寄付をいただきました。また、「米山奨学会の目的に賛同した」と、第2580地区のカウンセラーからも100万円の寄付をいただきました。多くの方々からのご支援に心より御礼申し上げます。現在、下期分普通寄付金を各クラブからいただいています。1月末現在、全クラブの74%(1,675クラブ)からご送金いただきました。今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2015 学年度の新ロータリー米山奨学生が決定

12月~2月初めにかけて、2015年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。1,357人の応募に対し、奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金(指定校応募)が519人、地区奨励奨学金(指定校応募)が16人、クラブ支援奨学金が8人、海外応募者対象奨学金(海外からの個人応募)が6人です。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。国籍・地域別では、中国42.4%、韓国13.8%、ベトナム10.4%、台湾・マレーシア4.4%の順です。今回の合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた729人が2015学年度奨学生となる予定ですが、今後、継続者および他の奨学金合格者による辞退、海外学友会推薦奨学生の合否などによって、人数の変動が見込まれます。

全国学友会会長セミナーを開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが1月17日、都内で開催され、全国31の学友会の代表者29人と、よねやま親善大使の楊小平さんが参加しました。午前のセミナーでは、当会事務局からの説明のほか、関西学友会の何玉翠会長、第2800地区学友会の元銘煌会長、第2620地区学友会の上野佳子会長から、それぞれ学友会運営についての事例が紹介されました。また午後は、3つのグループに分かれ、各学友会の抱える悩みや組織づくり、地区との連携などに関する活発な意見交換が行われました。

学友会会長セミナーは2006年以來の開催ですが、地区を超えた横のつながりを深め、ほかの学友会からヒントを得る良い機会となったようです。アンケートでは「長年の課題を話し合うには時間が足らなかった」「今後も定期的に開催してほしい」などの声も聞かれました。お忙しい中、ご参加いただいた皆さまに心から感謝いたします。

ベトナムで学友が奉仕活動

— 児童養護施設に寄付 —

ベトナム・ホーチミン市で1月18日、米山学友が児童養護施設を訪問し、ベトナム出身学友22人から寄せられた寄付金で購入した米150kg、砂糖40kg、インスタントラーメン25箱を寄贈しました。

また、第2750地区・東京日本橋RCベトナム交流会有志による絵本が併せて子どもたちに贈呈されました。参加したチュオン・トウイ・ランさん(2006-07/大宮北東RC)は、「海外在住のベトナム人学友も、一時帰国してミーティングに参加し、寄付をしてくれました。私たちの活動はまだ始まったばかりですが、これからも小さなことを集めて、大きなことにしていきたいです」と、活動への意欲を見せています。ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、少しずつ活動を開始しているほか、ハノイでも毎月1回、学友の集いが行われています。

☆☆例会のご案内☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◎2月19日(木)第938回例会 例会変更

「地区大会」2月22日(日)ウエスティナゴヤキャッスル

◎2月26日(木)第939回例会

「20周年記念式典リハーサル」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆